



永井 孝佳 議員



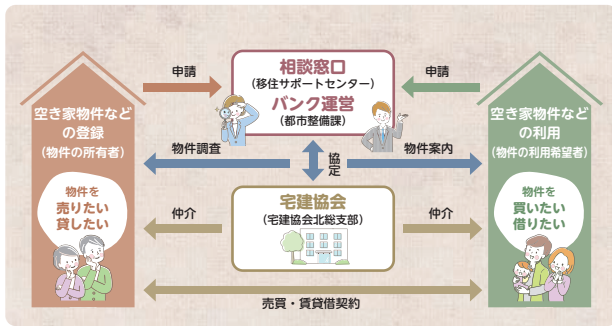
旭市空き家等対策計画について

問 空き家バンクの開始時期は、

答 令和5年度を予定している。

問 空き家バンクの周知や募集方法は、

答 相談窓口を移住サポートセンターと都市整備課内に置く。募集方法はパンフレットの配



旭市空家・空地バンクの仕組み（イメージ図）

布、ホームページの掲載、物件の所有者に直接働きかける予定。

問 新規事業の空き家バンク登録物件改修事業補助金の具

体的な内容は、

答 空き家バンクに登録された物件を改修する方に対し、

改修費を補助する制度。補助対象者は市内に転入する方で空き家の居住者。補助率は補助対象経費の3分の2で上限は50万円。

道の駅 季楽里あさひについて

問 出荷者から販売スペースが足りないという意見があるが足りているか。

答 令和3年6月に施設のレイアウトを変更し、売り場面積の拡張や冷蔵庫等の増設を行った。しばらくはこのまま様子を見ていきたい。

問 市内の産品を優先する事はできないか。

答 市外の出荷者から類似品の出荷要望があった場合には、

基本的には市内出荷者の商品を優先して陳列。また、市内の出荷者と市外の出荷者で料率を変える事で市内の出荷者を優遇している。

その他の質問事項

○セキュリティと業務効率について

高齢者の健康づくりと生きがいづくりについて

問 男性は骨粗しょう症の検診対象にならないのか。また、

骨量減少変化が起きやすい50歳以上の女性は、5歳刻みではなく希望者全員が検診を受けられないか伺う。

答 男性を検診対象とすることはない。現在のところ考えていない。女性の検診については、20

歳以降の若い年齢から検診の対象として、骨粗しょう症予防の意識付けを行っているが、毎年の検査については、近隣市町村の動向を見ながら検討したい。



骨粗鬆症検診(測定の様子)

空き家対策について

問 全国的に空き家になる要因の約6割が相続にあると言

われている。住まいの売却や相続の準備などをまとめた空き家の終活ノートの作成や市民対象の出前講座を行う等、空き家抑制の対策が必要と思われるが、どのように考えているか。

答 終活ノートの作成や市民対象の出前講座等、先進的な事例として参考にし、空き家を増加させない取り組みにつなげていきたいと考えている。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 5類移行後、発熱者の医療機関での受診混乱を防ぐため、一定期間の発熱外来確保等の対応はあるか伺う。

答 入院や外来の取り扱いについては、原則としてインフルエンザ等の病気と同様になる予定であることから、幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症患者が受診できる医療体制へ段階的に移行される見込み。3月上旬に示される国の方針に沿って対応していきたい。